



五、第三大隊(配属部隊如旧)ハ第三大隊ニ連撃シ、前田東北側附近ノ敵ヲ撃壊シ、  
シテ後、第一線大隊ニ跟随ス。

六、第二大隊(配属部隊如旧)ハ第三大隊ニ連撃シ、前田西北側ノ敵ヲ撃壊シ、  
第一線大隊ニ跟随ス。

七、四〇六 三カ八 第一大隊 戦斗ニ協カス。

八、四〇六 三カ八 第一大隊 戦斗ニ協カス。

九、戦斗地域ノ境界ヲ略ス。

十、敵ハ明言ノ原所屬ニ復帰ス。

十一、前田前線ニ在リ、後、高地ニ向テ前進ス。

右命令ニ基キ、各部隊ハ行動ヲ開始ス。

第二大隊ハ予言ノ如ク行動シタルモ、天明ト共ニ敵ノ猛射ヲ受ケ、其ノ第一線タル第三中隊  
ノ如キハ70%ノ損害ヲ被ルニ至リ、晝間ノ攻撃ヲ一時断念シ、爾後ノ攻撃ヲ準備スルニ  
到ル。敵飛行機ノ銃爆撃ハ終日進行セシメ、死傷續出ス。

夜ニ入り、聯隊命令ヲ以テ攻撃ヲ再興セシム。大隊ハ砲ヲ残置シ、主力ヲ以テ  
20高地前田間ノ地区ヲ突破シ、予言ノ地区ニ進出、同地ヲ確保ス。

翌五日天明ト共ニ敵ノ猛射ヲ受ケ、死傷續出シ、五月六日夜、聯隊命令  
令ニ依リ後退スル迄、三日間能ク頑強ニテ保持シ、敵線ハ真深ク敵ニテ、  
予言ノ如ク、軍司令部ヨリ、感状ヲ授ケラレ、畏クモ上聞ニ達ス。

第三十六大隊ハ予言ノ如ク前進シタルモ、前田附近以後、其消息ヲ断シ、至リ、第三大隊ハ  
予定ノ如ク友軍砲兵ノ支援ノ下、攻撃ヲ前進シタルモ、敵ノ猛射ヲ受ケ、死傷續出  
其ノ23ヲ失フニ至リ、以下、攻撃準備線ニ時々退シ、攻撃ヲ再々ニ専念ス。

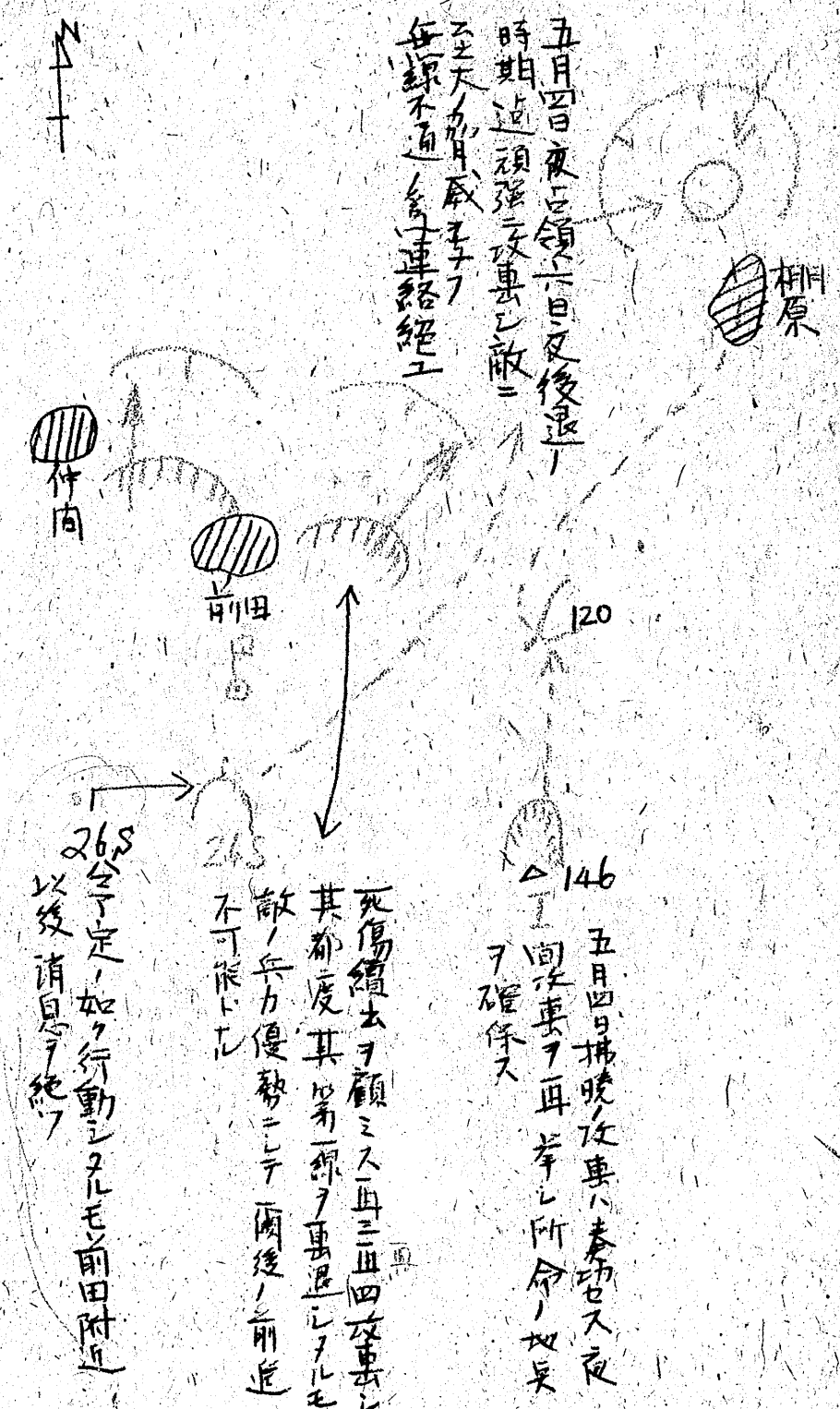
第二大隊モ亦予言ノ如ク攻撃ヲ前進シタルモ、是亦死傷續出、攻撃準備線ニ後退シ、  
十キニ至ル。聯隊長ハ前田附近、戦斗ノ状況ニ鑑ミ、更ニ部隊ヲ変更シ、四日更ニ攻撃ヲ再々  
ヲ命ス。

第一大隊ハ前田ノ如ク、棚原北ノ高地ニ予言ノ如ク進出シ、敵ニ至リ、脅威ヲ予ハ多大ノ成果  
ヲ收メタルニ至リ、五、五ノ攻撃ハ其ノ兵カノ小數ト敵ノ猛火ノ午後、前進頓座シ、再々ニ  
攻撃ヲ共ニ敵第一線ヲ撃退シタルモ、敵兵力優勢ニシテ、爾後ノ前進不可能ナル。

第三大隊ハ爾後全ク敵ノ包围ヲ受ケ、脱出困難ニ陥ル。

一般状況ノ記述如シ。

五月四日夜、領三日及後退、  
 時期、遠頭強攻其敵、  
 至天、敵、  
 無線不通、  
 柵原



四十、五月五日 戰略持久態勢ヲ更ニ強化スル爲首里北側地区ニ轉進ス(ギ師團命令ヲ受領スルト共ニ新ニIIA(一中ヲケキ独立第一大隊第一中隊ヲ屬長法師中佐)ヲ配屬セシム)

- 一、IIA直下ニ轉進ノ命令ヲ下達ニ行動ヲ開始シ得ルモ、工ハ依然柵原ニ在リ、  
 線不通ノ爲、翌六日ニ至リ漸ク之ヲ依違行動ヲ開始セラルトテ得タリ
- 二、IS/620 轉進ヲ擁護ス
- 三、IIASヲ經塚東側高地ニ配備シ、  
 IIASヲ經塚東南側凹地ニ轉進スル爲行動ヲ發起シテ其主力ハ敵ノ爲退路ヲ遮断セシメ目的ヲ達シ得ルニ至リ得テ現陣地ヲ固弁シ敵ノ後ヲ擾乱ヲ狀況許スニ到ラハ聯隊主力ニ復帰スルヲ命令ス
- 四、五月六日 聯隊本部及世八十二所世分頃ヨリ敵ノ包圍ヲ受ケルニ至リタリ以テ夜暗ヲ利用シ其ノ重圍ヲ脱シ勝山西南側凹地ニ轉進ス
- 五、五月八日 昨者ニ引續キ極力轉進ヲ企圖シテ其敵ノ勢ヲ至嚴十九ニシテ其兵力

極々優勢ナリ以テ脫去不可能ナリ多數死傷不ヲ出セル(但シ志気極々旺盛ナリ)

四十二、五月六日独三第九聯隊(長中本大尉)配属セシメ  
同日聯隊ハ勝山北端ハ經塚北端ヲ連テ占領シ敵ヲ其境ニキテ務メ  
正八七日棚原ヨリ轉進シ石嶺北側附近ニ集結ス棚原ニ於テ同大隊ノ損害  
大ニレテ大山大尉、木村少尉、本大尉、大滝少尉等多くノ將兵ヲ失ヘリ

四十三、聯隊ハ屢次戦斗ニ依リ損害甚大ニシテ戦力甚ク減セリ五月八日師團命令  
ヲニ據レ左記部隊ヲ編入セシメ編成替ヲ實施ス  
独三第一大隊 第五中隊 輔重兵第三十四聯隊ノ一部  
独三兵第三十六大隊 中絶聯隊区司令部秋川大尉以下ノ名  
全 第二十九大隊 海上第三十六戦隊ノ一部

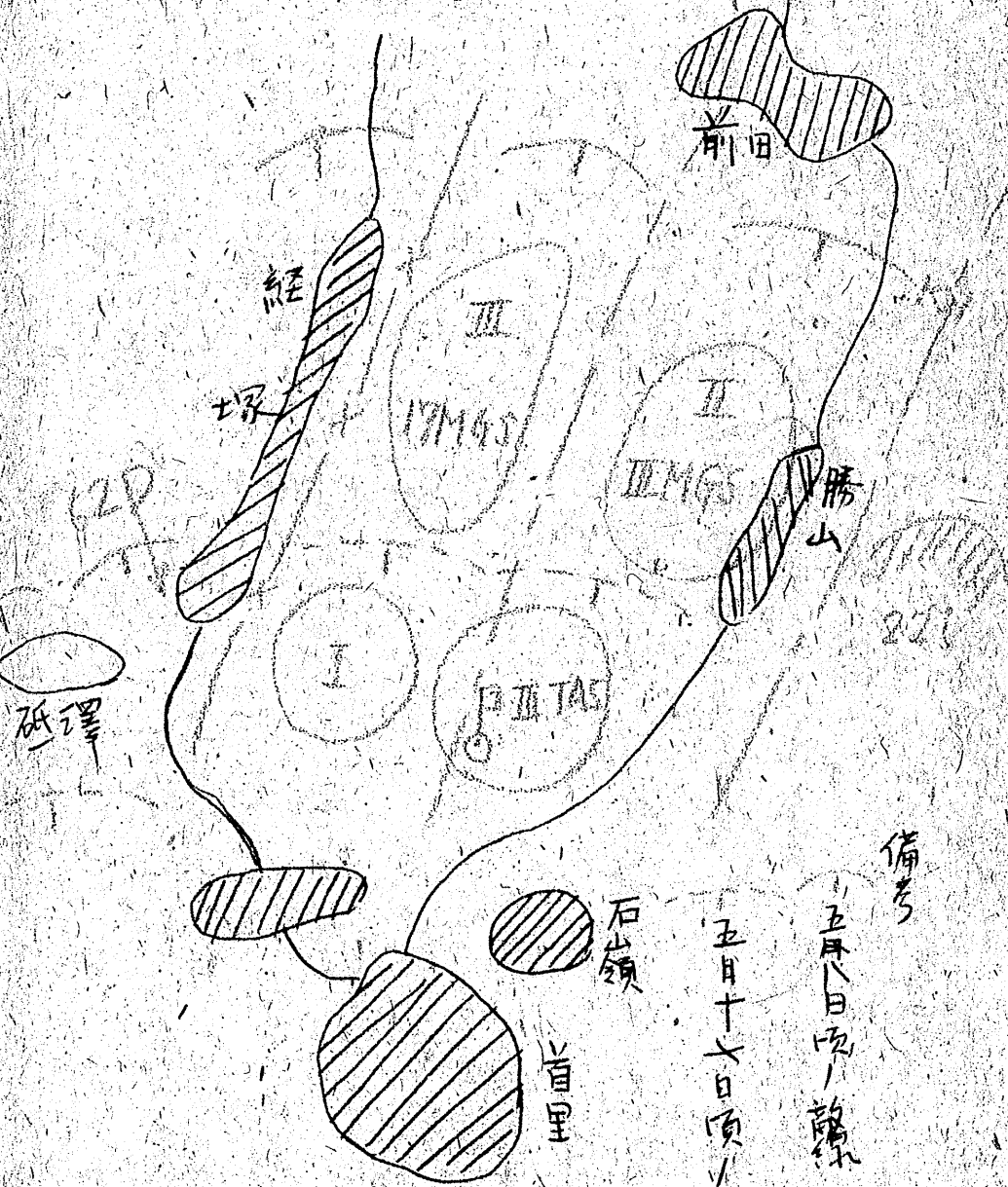
前項部隊ノ編入ヲ受ケルト兵二九ノ如ク編成改正ヲ實施ス

		歩兵第三十三聯隊 編成改正表		摘要
編成区分	編成ノ急	長伊東大尉	編成ノ急	摘要
I	長伊東大尉	長中本大尉	佐村大尉以下ノ名ヲ除ク	
II	長中本大尉	長滿尾大尉	佐村大尉以下ノ名	
III	長滿尾大尉	五二六ノ生存者(佐村編成ノ健在ニ配属)	八五朝名ノ因テ	
備考	一、P. O. R. T. A. K. ハ現編成ノ健在ス 二、中絶聯隊区司令部秋川大尉以下ノ名ハ各大隊編入ス			

右編成改正ニ伴ヒ五月八日ヨリ八月迄迄ル綜合陣地編成ノ概要ヲ記要図ノ如ク  
四十三、五月十日總攻裏ノ戦功ヨリ師團長ヨリ賞詞ヲ授ケセシメ(別紙参照)

30080  
1508位

勝山附近陣地要領圖  
(於五月七日頃)



敵ハ近來主力ヲ強ニ戦車ヲ以テ勝山方面ヨリ攻撃ヲ指向スルト共ニ経塚西方面ヲ  
 圧迫ス、第一線大隊能ク優勢ヲ敵ノ猛攻ヲ撃退シ現陣地ヲ確保シ聯隊正面ハ  
 十七日頃ハ前項要領ノ如ク突出シ危険ヲ生ス

第一大隊ハ陣地方面ヨリシテ敵ヲ撃滅ス敵砲火ハ柱ヲ激烈ニシテ所謂雨降ル如クハ  
 一事ヲ言フヘシ敵戦車ハ毎日前田方面ヨリ勝山附近ニ進出シ其西方低地ヲ砲撃  
 セリ以テ師團ニ砲撃ヲ要求シタルモ思フニ至ラス

四十四、五月十日右部隊第十大隊又輜重隊配属セリ

四十五、第十三大隊中隊聯隊及第三大隊本部ハ勝山西方高地ニ於テ敵ノ猛攻ヲ受テ  
 全ク退路ヲ遮断セラル依テ第二大隊ヲ以テ五月十日夜襲ハシテ之ヲ撃退セリ

四十六、第五大隊ハ其中隊ヲ以テ前項敵ヲ夜間攻撃シ撃退シ砲隊聯隊救済ニ成功セリ

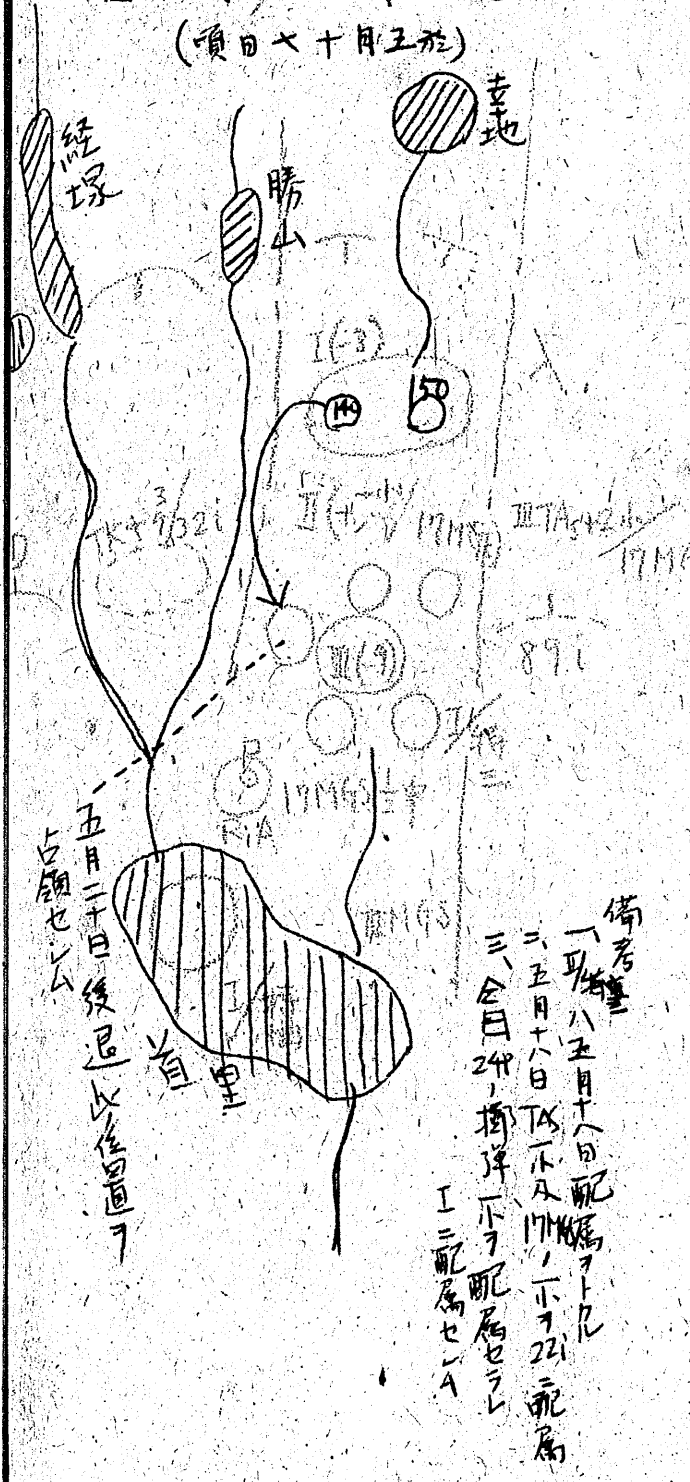
四十七、五月十五日師團ハ首里周辺地区ニ兵力ヲ集結シ敵ヲ陣前ニ其滅スルニシテ聯隊ハ準備  
 隊トシテ赤田町及石嶺南側地区ニ兵力ヲ集結シ命令セリ

四十八、五月十六日新ニ配属セル同日聯隊ハ22ト交代シ中地区隊トシテ戦車隊右翼ヲ連  
 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

58 200 3 TAB 100 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

繁レ(下)右領附近ヲ占領シテ(山)石嶺東北側130高地140高地150線ヲ占領スル  
 中師團命令ヲ受領シ左記要圖ノ如ク陣地ヲ占領ス又左記部隊配属ヲ受テ陣地ヲ占領シ命入  
 一 特編第四聯隊  
 二 特編第三聯隊第二大隊(中包)  
 今日第三中隊第九中隊ヲTK新隊ニ配属ス

首領附近陣地要圖  
 (頃日六十月五花)

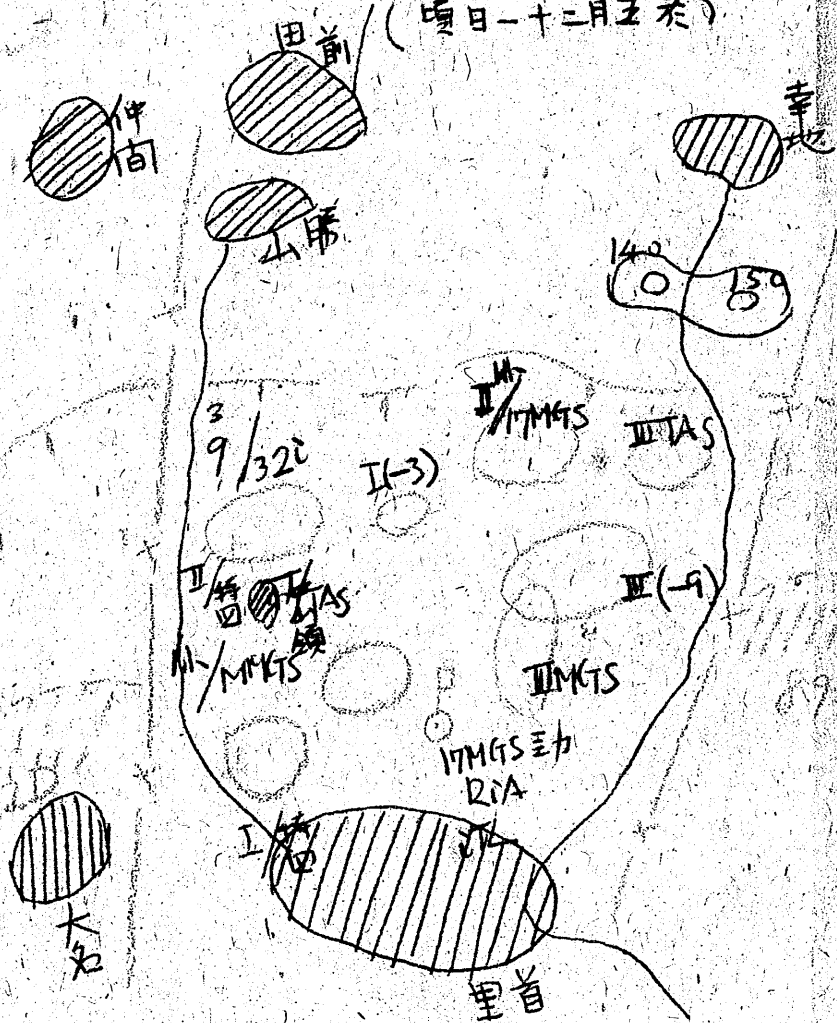


第一大隊陣地占領以來ノ敵斗ニ依リ大ニ戦果ヲ收メ得タルハ特ニ下ノ苦斗ノ敵者  
 々能ハサル所ナリ一又又損害甚大ニシテ五月二十日ニ至リ戦斗力逐次減耗シ毎月四十数名ノ死  
 傷者ヲ補えスルヲメニハ後方ノ兵力涸竭スルノオシテ師團長ノ怒ヲ得テ之ヲ後退  
 下ト下トノ中間地区ニ陣地ヲ占領セシメ戦斗セシム(前項要圖参照)此時工ハ大隊長  
 以下二十数名ニ退キス

四十九、五月二十日師團命令ニ基キ地区隊ハ赤松地区隊トナリ休ノ担任地区ヲ併セ担任ス  
 TK八他ニ移動ス下ニ配属中ノ39321 444 444 TASヲ復属(配属)セシム、聯隊長ハ従来ノ  
 中地区隊ノ配属ヲ其儘トシ又従来TKノ陣地ヲ其儘第一線トシ(444)大隊長(鈴木)任  
 ヲテ指揮セシム、其ノ状況左記要圖ノ如ク  
 各隊ハ二十九日島尻地区轉進シ現陣地ニ接近シ志氣極メ旺盛能ク優勢ヲ敵ノ  
 攻撃ヲ拒止シ甚大ニ損害ヲ与ヘタリ、工ハ50高地撤退後能ク兵力ヲ集結、勇戦  
 奮斗、正及左第一線ノ敵ノ側面ヲ攻撃スルノ態勢ニ依リ其ノ正面ニ於テ攻撃  
 ヲ遲滞セシメタリ、(444)大隊長ハ正及左指揮(大隊長中本)大尉面傷セシム、  
 優勢ナル敵ニ至テ大ニ損害ヲ与ヘタリ、右第一線正面ニ於テハ優勢ナル敵ノ攻撃ヲ

首里附近陣地要領圖

(五月二十一日頃)



ヲ受テ重團三階リテは第九中隊ハ全滅大隊長戦死スル等我損害モ亦大ナリキ  
 二十七日頃左第一線ハ前進陣地ナリシヲ以テ一部ヲ残置シ聯隊本部附近ニ後  
 退セシメタリ一部ノ敵ハ二十九日620正面松川方面ヨリ首里ニ進入首里城跡ヲ占領  
 シ逐次南方ヨリ聯隊本部方面ニ侵入シ来リタルニ部隊ハ能ク之ヲ果退セリ  
 聯隊内各部隊正面ハ頑トシテ勇戦奮斗現陣地ヲ確保シテリ之ヲ將兵ノ勇  
 戦奮闘ノ結果ニシテ聯隊長ノ感激措ク能ハサル所ナリ

四、第四期 島尻地区轉進ノ後首里附近ニ攻撃ヨリ國吉附近ニ集結シ

(自昭和十一年五月二十九日  
 至同六月二日)

五十、五月二十一日更ニ戰略持久ヲ強化スル爲メ師團ハ島尻地区ニ轉進スルハキ師團命令ヲ

受領シ左記要旨ノ聯隊命令ヲ下達ス

聯隊命令ノ要旨 五月二十一日 首里北側

- 一、敵情畧ス
- 二、師團ハ戦果持久ヲ強化スル爲メ島尻地区ニ轉進ス
- 三、聯隊ハ島尻地区國吉附近ニ轉進シ更ニ持久ヲ強化セントス

三、各部隊ハ左記計畫ニ其手行動シ先々國吉附近ニ集結シ爾後ノ戰鬥準備スル

歩兵第三十二聯隊 轉進 計畫書

部隊	任務	陣地	持久度	集結地	摘要
II 隊	第一收容部隊	首里北側現陣地	五月二十九日夜首里撤退 全夜津嘉山に到リ六月一日夜全地を松岡吉二前進	六月二日國吉附近 一集結	長 一 師中佐 副 師中佐
I 第一中隊	第二收容部隊	本部附近 1500 附近	五月二十九日夜首里北側現陣地 撤退全夜上記陣地を占領	六月三日夜近ニ國吉附近ニ集結	長 師中佐 副 師中佐
I 第一右中隊	第三收容部隊	國場中井間 南側高地	六月二日 2000 撤退 國吉二前進	六月三日夜近ニ國吉附近ニ集結	長 師中佐 副 師中佐
II 特別四	第四收容部隊	南側高地	五月二十九日夜被陣地捕獲 津嘉山に位置し六月二日夜國吉二前進	六月二日夜止ニ國吉附近ニ集結	長 師中佐 副 師中佐
其他					

各部隊ハ右命令ニ其手行動ヲ開始セリ  
第一收容部隊ハ優勢ナル敵ヲ拒止シ能ク任務ヲ全クシテ是如ク國吉附近ニ集結ス  
聯隊本部及第二收容部隊ハ予定ノ如ク二十九日 2000 現在地を松岡吉二到着  
收容二任ス  
二十九日夕敵一部ハ既ニ松川方面ヨリ侵入シ首里城跡ヲ占領ス  
津嘉山附近ニ於テ左記要図ノ如シ

